

3・11 東日本大震災・東京電力福島第一原発事故7周年

尾崎孝史 写真展

ゆうな
汐風を捜して

福島・大熊町
津波で流された娘を捜す父
6年半の記録



父が撮影した入学式の汐風さん 2010年4月



がれきの下の土砂をふるいにかけて汐風さんの遺骨を
捜す父親の木村紀夫さん 2016年12月

巨大津波に襲われ、放射能に閉ざされた無人の地で、父は6年にもわたって娘の遺骨を捜し続けた。「娘は本当に生きて救い出せなかったのか……」。捜索は、目に見えない放射能に何度も阻まれ続けた。

と き:2018年

3月2日(金) 9:00~17:00

3日(土) 9:00~17:00

4日(日) 9:00~15:00

ところ:吉井文化会館ギャラリー

〒:高崎市吉井町吉井 285-2
☎027-387-3211

フロアトークの予定

3月3日 14:00~15:00

写真家・尾崎孝史さんをお招きし、写真一枚一枚の説明をしていただく予定です。

詩人・和合亮一作『詩の礫』展を同時開催

福島の詩人で高校教師の和合亮一さんは、震災以降、福島から Twitter で「詩の礫」と題した連作を発表しつづけ、内外で大きな反響を呼びました。2017年6月、フランスの文学賞受賞。